

令和6年度 第2回 新津小・中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月27日（木） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 新津小学校南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 川嶋 利博、澤根 緑、阿部 まゆみ、内山 真由美、下位 彰吾、深津 正樹、大石 浩貴、戸塚 なつみ、澤柳 由香、水谷 裕美
- 4 欠席委員 中村 和則、鈴木 保明、松田 哲、池田 峰生、宮野 浩和
- 5 オブザーバー 山下 美香（新津協働センター所長）
- 6 学 校 松山 徹（新津小校長）、平野 敦子（新津中校長）  
佐山 淳一（新津小教頭）  
森 英仁（新津小CS担当教職員）、影山 直男樹（新津中CS担当教職員）  
二宮 千穂（新津小CSディレクター）、青木 潤子（新津中学校CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 新津小CSディレクター 二宮 千穂
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、深津委員から大石委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 新津小の学校支援活動について
- (2) こどもまんなか社会について

12 会議記録

司会の新津小CS担当教職員から、委員総数15人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 新津小の学校支援活動について

議長の指示により、小学校校長から、別紙資料に基づき新津小の学校支援活動について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・将棋ボランティアとあるが、いくつクラブがあって、他にボランティアはあるのか。手伝えそうなクラブはあるのか。（深津委員）  
→9か10のクラブがあり、今年度ボランティアは将棋クラブのみ。（新津小教頭）
- ・自治会：通学路改善要望について、自治会防犯では防犯カメラの設置を進めている。子供たちの安心、安全、通学路の見守りが目標であり、保護者目線でここがほしいと要望があれば教えてほしい。（川嶋委員）

2つのグループに分かれて熟議をし、それぞれの代表者から以下の発言があった。

【澤根委員、阿部委員、内山委員、深津委員、大石委員】

- ・縦割り活動ではリーダーシップと合わせてフォロワーシップが学ぶ資質として出てくるといいのではないか。通学班登校はいかにリーダーシップとしてお手本になるか、それをどう見習っていくかを学ぶ場としてはいい環境である。PTA・もりのこサポーターズ愛校活動を通して気づく力の部分、生徒自身が考えていく資質を築いていけたらいいのではないか。

- ・ボランティアの方と学校、生徒との接点が薄くなっている。ボランティアの方の思いが生徒にうまく届けられるような機会が増えていくといいのではないかと。
- ・図書室が1つの救いの場になっている。もう少し機能を活用することで救える児童がいるのではないかと。

【川嶋委員、下位委員、澤柳委員、戸塚委員、水谷委員】

- ・小学校の学校支援活動の中で、命についての記載が必要ではないか。命の大切さや交通安全についてちゃんと理解してほしい。
- ・この協働体制で、小学生の位置づけが受け身なのか主体的立場なのか。育てたい資質として児童が主体的な表現をされてもいいのではないかと。

○協働センターの卓球教室では小1から中学生までの25名が受講し、地域の卓球同好会の方が講師をしてくださり、縦のつながりという点でいい体験ではないかと思う。ふれあいフェスタでは小・中学生にボランティアをお願いした。地域の一員としての自覚につながるのではないかと思う。(新津協働センター山下所長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) こどもまんなか社会について

議長の指示により、新津小校長から、別紙資料に基づきこどもまんなか社会について説明があり、2つのグループに分かれて熟議をし、それぞれの代表者から以下の発言があった。

【川嶋委員、澤根委員、阿部委員、内山委員、深津委員】

- ・こどもまんなか社会とは、子供の声を聞くところから始まる。ヤングケアラーという言葉があるが、その子の子供としての権利があることをわかってほしい。SOSを出してもいいんだよということを知ってもらうために周りの助けが必要になる。
- ・子供会議というものができたらいいと思う。子供自身に「こどもまんなか社会」って何？と考えてもらうことも子供の主体性を考えたときにいいのではないかと。

【下位委員、澤柳委員、戸塚委員、水谷委員、大石委員】

- ・何を学ぶか？というところで、社会のルール、勉強、愛、心といった面が出てきた。安心して学べる場は家庭であり、学校である。子供が安心して学ぶことができる環境はその子によって違うかもしれない。子供が安心できる環境を自分で探せるよう、大人としては少しでも子供と関わることを意識して働きかけていけたらと思う。
- ・今は情報社会であるが、情報にも格差がある。学びにも差がついている。受け取られる情報にも差があるので、考えていかなければいけない。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

(1) 学校支援コーディネーターからの報告

今年度第1回コーディネーター研修に参加してきた。活動も3年目になり、先生からの依頼があって動く段階ではないとの話があり、課題だと感じた。

(2) 次回開催日程について

新津小CS担当教員から、第3回会議は令和6年10月18日(金)午後2時から新津中会議室で開催する旨の報告があった。